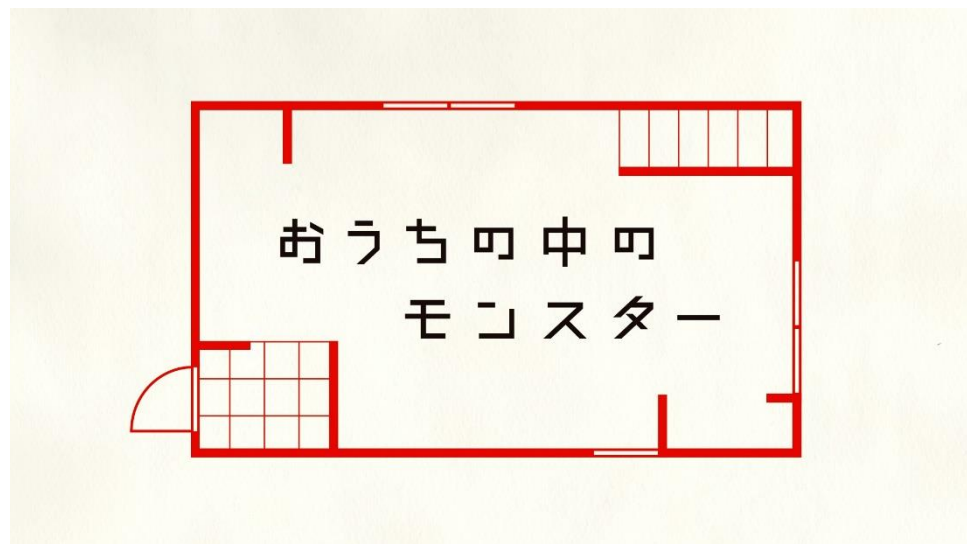


2023年1月13日

株式会社電通デジタル

## 電通デジタル、制作広告が「第60回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」にて 「デジタル広告部門 JAA 賞メダリスト」を受賞

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）と株式会社電通（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：樽谷 典洋）が共同制作した『おうちの中のモンスター』（広告主：日本赤十字社）が、公益社団法人日本アドバタイゼーション協会が主催する、「第60回 JAA 広告賞 消費者が選んだ広告コンクール」において、「デジタル広告部門 JAA 賞メダリスト」を受賞しましたのでお知らせします。



JAA 広告賞は、生活者視点から優れた広告を表彰することを通じて、時代に即したコミュニケーションの在り方を模索し、広告の健全なる発展に寄与することを目的に開催されています。60 回目の開催となった今回は、「テレビ広告」「ラジオ広告」「デジタル広告」「屋外・交通広告」「新聞広告」「雑誌広告」の6部門で合計1,164点の応募がありました。「好感、共感、親近感もてる広告であるか。（感性）」「わかりやすく、納得できる広告であるか。（理性）」「オリジナリティが感じられる広告であるか。（創造性）」という基準のもと審査が行われ、『おうちの中のモンスター』はデジタル広告部門において各部門の優秀作品 10 点が選出される「JAA 賞メダリスト」を受賞しました。

### ■受賞作品について

題名：ACTION！防災・減災『おうちの中のモンスター』

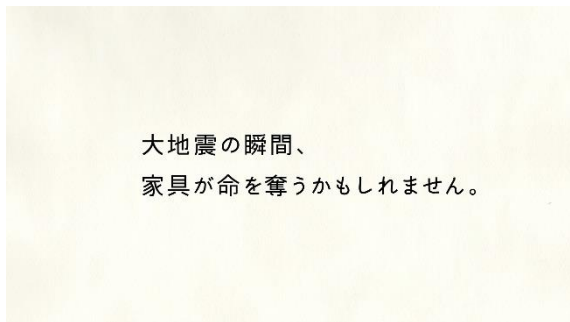
広告主：日本赤十字社

受賞動画：[https://www.youtube.com/watch?v=c9U\\_OYPmLYo](https://www.youtube.com/watch?v=c9U_OYPmLYo)

クリエイティブについて：

阪神淡路大震災におけるおうちのケガの原因の約 7 割が家具やガラスによるものでした<sup>※</sup>。大地震であればあるほど、家具は命を奪う凶器に変わります。助かる確率を上げるためには「おうちの中の危険」をどれだけ減らすかが重要です。日本赤十字社は 1 人でも多くの命を守るため、普段は役に立つ家具が、災害時に襲いかかってくることを「モンスター」になぞらえ寓話化したアニメーションを制作し、防災意識の高まる 9 月に配信しました。多くの方に視聴いただくとともに、多数の SNS コメントもいただき、おうちの防災の一助となっています。

※出典：日本建築学会「阪神淡路大震災 住宅内部被害調査報告書（内部被害による怪我の原因）」より。



スタッフリスト（電通デジタル社員／電通社員のみ抜粋 ※制作時の所属）：

エグゼクティブクリエイティブディレクター：並河 進（電通）

クリエイティブディレクター：河野 洋平

アートディレクター：三近 淳

プランナー：波多野 三代・竹田 芳幸・堤 大祐（電通）

コピーライター：河野 洋平・波多野 三代

クリエイティブプロデューサー：永井 美喜

ビジネスプロデューサー：小林 直樹・鈴木 章義（電通）

今後も電通デジタルは、生活者のインサイトを徹底的に深堀し、人の心とモノを動かすクリエイティブを提供してまいります。

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

国内最大規模のデジタルマーケティング会社として、データとテクノロジーを駆使した次世代マーケティングの戦略策定・実行、その基盤となる IT プラットフォームの設計・構築、クライアントの事業革新を支援する DX コンサルティングなどのサービスを提供。国内外の企業との緊密なパートナーシップのもと、高度な専門性と統合力により、クライアントの事業成長に貢献しています。

**【本リリースに関するお問い合わせ先】**

株式会社電通デジタル ブランディング&コミュニケーション部 広報 PR グループ

長田・宮本 TEL : 03-6217-6036

Email : [press@dentsudigital.co.jp](mailto:press@dentsudigital.co.jp)